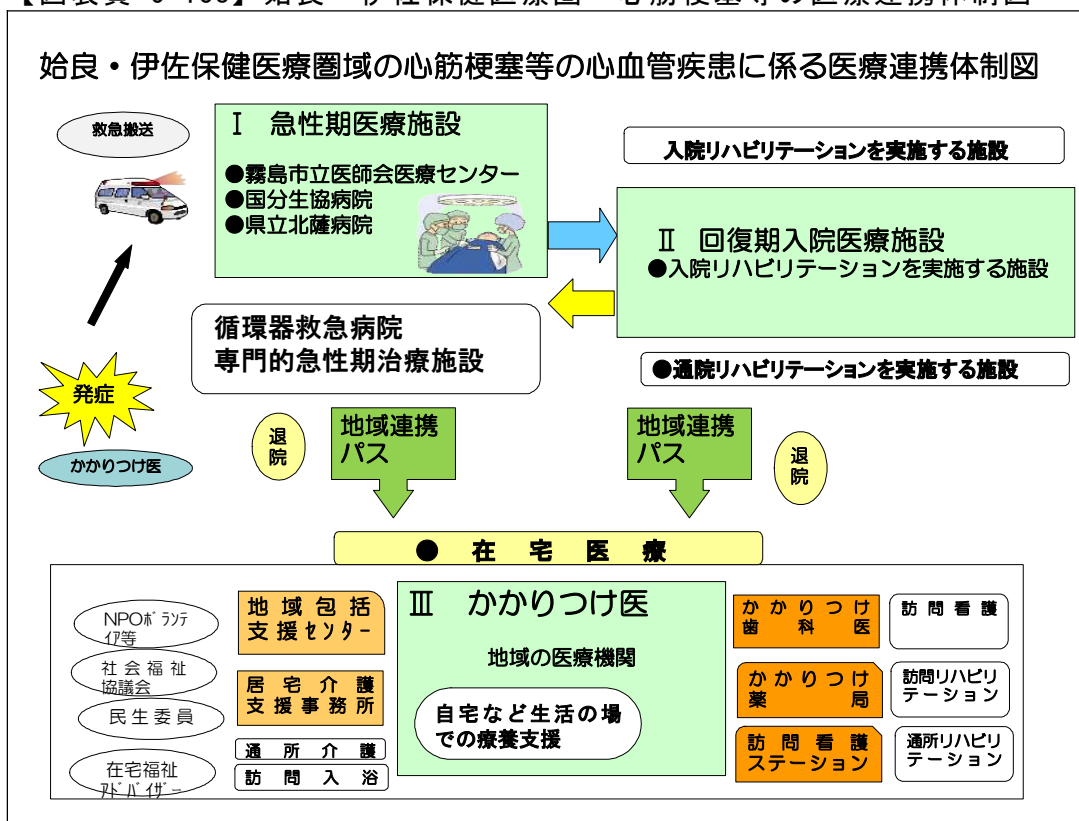


【図表資-5-138】始良・伊佐保健医療圏 心筋梗塞等の医療連携体制図



[始良・伊佐地域振興局作成]

【図表資-5-139】始良・伊佐保健医療圏 心筋梗塞等の医療機能基準

医療機能	急性期医療施設 (循環器救急病院・専門的急性期治療施設)	回復期入院医療施設 (運動制限が長期間にわたる等の理由で、運動機能他の廃用が強く、急性期医療機関から直接自宅退院できない患者に対して、入院リハビリテーションを実施する施設に係るもの)	かかりつけ医療施設 (自宅など生活の場での療養支援) (心筋梗塞連携体制に参加するかかりつけ医は、心筋梗塞の患者さんの在宅での生活を支えるために、以下の役割を果たすよう努力する)
医療機能基準	<p>①速やかな確定診断が可能である。</p> <p>②緊急心臓カテーテル検査ならびに、緊急PTCAあるいは緊急PTCRが可能である。</p> <p>③急性心筋梗塞が疑われる患者について、専門的な診療を行う医師等が対応可能である。</p> <p>④冠動脈バイパス手術の適応を推定し、手術可能な医療機関と連携している。</p> <p>⑤心不全の管理治療及び不整脈等合併症の管理治療が可能である。</p> <p>⑥再発予防及び基礎疾患の管理が可能である。</p> <p>⑦心機能や不整脈の監視下による早期のリハビリテーションを実施している。</p> <p>⑧診療ガイドラインに則した診療を実施している。</p> <p>⑨転院・退院調整機能を持ったスタッフがおり、転院・退院に際し患者及び家族を精神的にサポートしている(専任の必要はない)。</p> <p>⑩紹介医又は転院先に適切な診療情報提供を行い、治療計画を共有している。</p> <p>⑪退院時カンファレンスまたは共同指導体制が望ましい。</p> <p>⑫地域のケアマネジャーや在宅療養施設等と連携がとれている。</p>	<p>①心不全、不整脈等合併症の管理及び治療が可能である。</p> <p>②再発予防に向けた治療等に対応できる。</p> <p>③診療ガイドラインに則して診療している。</p> <p>④心機能回復のためのリハビリテーションが可能であることが望ましい。</p> <p>⑤運動機能等の廃用に対するリハビリテーションが可能であることが望ましい。</p> <p>⑥口腔ケア及び摂食機能訓練が可能で、歯科医とも連携している。</p> <p>⑦入退院・転院調整機能を持ったスタッフがおり、転院・退院に際し患者及び家族を精神的にサポートしている(専任の必要はない)。</p> <p>⑧紹介医または転院先に適切な診療情報提供を行い、治療計画を共有している。</p> <p>⑨地域のケアマネジャーや在宅療養施設等と連携がとれている。</p> <p>⑩退院時カンファレンスを実施している。</p>	<p>①当該患者の状況を総合的に把握する。</p> <p>②循環器救急病院(急性期施設)と連携を図っており、再発を疑わせる症状へ即時対応が可能である。心機能異常の早期発見が可能である。</p> <p>③診療ガイドラインを基本に、総合的な判断の下、基礎疾患及び再発防止の治療、管理を行う。在宅生活及び就労に関する指導を行う。</p> <p>④生活機能を維持するためのリハビリテーション指導が可能。若しくは指導可能な施設と連携する。</p> <p>⑤口腔ケア及び認知症への相談に対応、もしくは対応可能な施設と連携して対応している。その他各診療科や歯科医との連携をとって診療にあたる。</p> <p>⑥紹介医または入院先に適切な診療情報提供を行い、治療計画を共有している。</p> <p>⑦患者が希望する場合には、訪問診療が可能である。</p> <p>⑧地域のケアマネジャー、訪問看護、通所・訪問リハビリなどの介護福祉サービス並びにかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局との相互の情報共有を行う(カンファレンスなどが望ましい)。</p>

[始良・伊佐地域振興局作成]